

G8

病院 ID :

日付 : 年 月 日 評価者 :

G8 Screening tool			
	質問項目	該当回答項目	点数
A	過去 3 か月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事が減少しましたか	0 : 著しい食事量の減少 1 : 中等度の食事量の減少 2 : 食事量の減少なし	
B	過去 3 か月間で体重の減少はありましたか	0 : 3 kg 以上の減少 1 : わからない 2 : 1~3 kg の減少 3 : 体重減少なし	
C	自力で歩けますか	0 : 寝たきりまたは車椅子を常時使用 1 : ベッドや車いすを離れられるが、歩いて外出できない 2 : 自由に歩いて外出できる	
E	神経・精神的問題の有無	0 : 高度の認知症または鬱状態 1 : 中程度の認知障害 2 : 精神的問題なし	
F	B M I 値	0 : 19 未満 1 : 19 以上 21 未満 2 : 21 以上 23 未満 3 : 23 以上	
H	1 日に 4 種類以上の処方薬を飲んでいますか	0 : はい 1 : いいえ	
P	同年齢の人と比べて、自分の健康状態をどう思いますか	0 : 良くない 0.5 : わからない 1 : 同じ 2 : 良い	
	年齢	0 : 86 歳以上 1 : 80 歳~85 歳 2 : 80 歳未満	
	合計点数(0~17)		

本質問紙は G8 原版をもととし Mini Nutritional Assessment(MNA®)日本語版より該当する項目を引用しています。
作成にあたり国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の革新的がん医療実用化研究事業の支援を受けています。

手段的日常生活活動（IADL）尺度

病院 ID：

日付：

年

月

日 評価者：

項目		採点
A 電話を使用する能力	1. 自分から電話をかけることができる（電話帳を調べたりダイヤル番号を回すなど）	1
	2. 2-3 のよく知っている番号をかけることができる	1
	3. 電話に出るが自分からかけることはできない	1
	4. 全く電話を使用できない	0
B 買い物	1. すべての買い物を自分で行うことができる	1
	2. 小額の買い物は自分で行うことができる	0
	3. 買い物に行くときはいつも付き添いが必要	0
	4. まったく買い物はできない	0
C 食事の準備	1. 自分で考えてきちんと食事の支度を行うことができる	1
	2. 材料が供与されれば適切な食事を準備することができる	0
	3. 準備された食事を温めることはできる、あるいは食事を準備することはできるがきちんとした食事をいつも作ることはできない	0
	4. 食事の支度をしてもらう必要がある	0
D 家事	1. 力仕事以外の家事を一人でこなすことができる	1
	2. 皿洗いやベッドの支度などの簡単な家事はできる	1
	3. 簡単な家事はできるが、きちんと清潔さを保つことができない	1
	4. 全ての家事に手助けを必要とする	1
	5. まったく家事はできない	0
E 洗濯	1. 自分の洗濯はすべて自分で行うことができる	1
	2. 靴下などの小物の洗濯を行うことはできる	1
	3. 洗濯は全て他人にしてもらう必要がある	0
F 交通手段	1. 一人で公的機関を利用して外出したり、自家用車で外出することができる	1
	2. 一人でタクシーを利用できるが、その他の公的輸送機関を利用して外出することはできない	1
	3. 付き添いが一緒なら公的輸送機関を利用し外出することができる	1
	4. 付き添いか一緒にあれば、タクシーか自家用車で外出することができる	0
	5. まったく外出することができない	0
G 服薬管理	1. 自分で正しいときに正しい量の薬を飲むことができる	1
	2. あらかじめ薬が分けて準備されていれば自分で飲むことができる	0
	3. 自分の薬を管理することができない	0
H 金銭管理能力	1. 家計を自分で管理できる（予算、小切手書き、掛け金支払い、銀行へ行く等）	1
	2. 日々の支払いはできるが、預金の出し入れや大きな買い物などでは手助けを必要とする	1
	3. 金銭の取り扱いができない	0

手段的 ADL*（Lawton の評価法の女性用）

※ Lawton MP, Brody EM. Assessment of older people: self-maintaining and instrumental activities of daily living. Gerontologist. 1969;9:179-86.

チャールソン併存疾患指数（Charlson Comorbidity Index）

オリジナル・バージョン*より JCOG にて一部改変

病院 ID：

日付：

年

月

日

評価者：

		なし	あり
1	心筋梗塞（心筋梗塞の既往も含む）	0	1
2	うっ血性心不全（労作時呼吸困難、夜間呼吸苦、薬物療法に反応した例）	0	1
3	末梢血管疾患（間欠性跛行、バイパス術後、壊疽、未治療の胸腹部大動脈瘤（6 cm 以上）を含む）	0	1
4	脳血管障害（後遺症のほばない脳血管障害既往、一過性脳虚血発作）	0	1
5	認知症	0	1
6	慢性肺疾患（軽労作で呼吸困難を生じるもの）	0	1
7	膠原病（全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、混合性結合組織病、リウマチ性多発筋痛症、中等度以上の関節リウマチ）	0	1
8	消化性潰瘍（消化性潰瘍の治療が必要な患者）	0	1
9	軽度肝疾患（門脈圧亢進を伴わない軽度の肝硬変、慢性肝炎）	0	1
10	糖尿病（3 大合併症なし、食餌療法のみは除く）	0	1
11	片麻痺（対麻痺も含む。脳血管障害に起因していなくても可）	0	2
12	中等度－高度腎機能障害（ $\text{Cre} \geq 3 \text{ mg/dl}$ 、透析中、腎移植後、尿毒症）	0	2
13	糖尿病（3 大合併症のいずれかあり、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡での入院歴）	0	2
14	固形がん（非転移性、初回治療から 5 年以内） ^{注 1)} ^{注 2)}	0	2
15	白血病（急性白血病、慢性白血病、真性赤血球増加症） ^{注 1)} ^{注 3)}	0	2
16	リンパ腫（リンパ肉腫、マクログロブリン血症、骨髄腫含む） ^{注 1)} ^{注 3)}	0	2
17	中等度－高度肝機能障害（門脈圧亢進を伴う肝硬変）	0	3
18	転移性固形腫瘍 ^{注 1)}	0	6
19	AIDS（acquired immunodeficiency syndrome）	0	6

合計

/37

注 1) がんを対象とする臨床試験では、当該試験の対象となるがん種を、固形がん、白血病、リンパ腫、転移性固形腫瘍に含めない。「転移性」は遠隔/臓器転移を有することを指す。

注 2) 固形がんでは、初回治療から 5 年以上経過し、転移・再発が確認されていないもののほか、上皮内癌、粘膜内癌相当の病変、および 5 年相対生存率 95%以上相当のがんはいずれも含めない。

注 3) 治癒が得られたと判断される場合は併存疾患と扱わない。

※ Charlson ME, Pompei P, Ales KL, MacKenzie CR. A new method of classifying prognostic comorbidity in longitudinal studies: development and validation. J Chronic Dis. 1987;40(5):373-383. doi: 10.1016/0021-9681(87)90171-8. M Extermann, Measuring comorbidity in older patients, Eur J Cancer. 2000 Mar;36(4):453-71

チャールソン併存疾患指数（Charlson Comorbidity Index）

アップデート・バージョン※より JCOG にて一部改変

病院 ID：

日付：

年

月

日

評価者：

		なし	あり
1	心筋梗塞（心筋梗塞の既往も含む）	0	0
2	うっ血性心不全（労作時呼吸困難、夜間呼吸苦、薬物療法に反応した例）	0	2
3	末梢血管疾患（間欠性跛行、バイパス術後、壊疽、未治療の胸腹部大動脈瘤（6 cm 以上）を含む）	0	0
4	脳血管障害（後遺症のほぼない脳血管障害既往、一過性脳虚血発作）	0	0
5	認知症	0	2
6	慢性肺疾患（軽労作で呼吸困難を生じるもの）	0	1
7	膠原病（全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、混合性結合組織病、リウマチ性多発筋痛症、中等度以上の関節リウマチ）	0	1
8	消化性潰瘍（消化性潰瘍の治療が必要な患者）	0	0
9	軽度肝疾患（門脈圧亢進を伴わない軽度の肝硬変、慢性肝炎） ^{注 1)}	0	2
10	糖尿病（3 大合併症なし、食餌療法のみは除く） ^{注 2)}	0	0
11	片麻痺（対麻痺も含む。脳血管障害に起因していなくても可）	0	1
12	中等度－高度腎機能障害（ $\text{Cre} \geq 3 \text{ mg/dl}$ 、透析中、腎移植後、尿毒症）	0	1
13	糖尿病（3 大合併症のいずれかあり、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡での入院歴） ^{注 2)}	0	1
14	固形癌（非転移性、初回治療から 5 年以内） ^{注 3)} ^{注 4)} 白血病（急性白血病、慢性白血病、真性赤血球増加症） ^{注 3)} ^{注 5)} リンパ腫（リンパ肉腫、マクログロブリン血症、骨髄腫含む） ^{注 3)} ^{注 5)}	0	2
15	中等度－高度肝機能障害（門脈圧亢進を伴う肝硬変） ^{注 1)}	0	4
16	転移性固形腫瘍 ^{注 3)}	0	6
17	AIDS（acquired immunodeficiency syndrome）	0	4

合計

/24

注 1) 9（軽度肝疾患）と 15（中等度－高度肝機能障害）はどちらかしか選択できない

注 2) 10（糖尿病（3 大合併症なし、食餌療法のみは除く））と 13（糖尿病（3 大合併症のいずれかあり、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡での入院歴））はどちらかしか選択できない

注 3) がんを対象とする臨床試験では、当該試験の対象となるがん種を、固形がん、白血病、リンパ腫、転移性固形腫瘍に含めない。「転移性」は遠隔/臓器転移を有することを指す。なお、14（固形癌、白血病、リンパ腫）と 16（転移性固形腫瘍）はどちらかしか選択できない。

注 4) 固形がんでは、初回治療から 5 年以上経過し、転移・再発が確認されていないもののほか、上皮内癌、粘膜内癌相当の病変、および 5 年相対生存率 95%以上相当のがんはいずれも含めない。

注 5) 治癒が得られたと判断される場合は併存疾患と扱わない。

※ Charlson ME, Pompei P, Ales KL, MacKenzie CR. A new method of classifying prognostic comorbidity in longitudinal studies: development and validation. J Chronic Dis. 1987;40(5):373–383. doi: 10.1016/0021-9681(87)90171-8.
M Extermann, Measuring comorbidity in older patients, Eur J Cancer. 2000 Mar;36(4):453-71

居住状況※

病院 ID :

日付 : 年 月 日 評価者 :

Q : 以下の選択肢のなかで、あなたの居住状況に一番近いのはどれですか？

- 自宅（独居）
- 自宅（誰かと同居）
- 施設（例：高齢者向け住宅や介護施設など）

※ EORTC Minimum Dataset より抜粋（以下、原文）

Pallis AG, Ring A, Fortpied C, et al. Eortc workshop on clinical trial methodology in older individuals with a diagnosis of solid tumors. Ann Oncol. 2011;22(8):1922–1926.

3.4 Social situation

To be completed by: Clinician or trained coder.

Question to the patient:

Which of the following statements best describes where you live?

- At home by myself.
- At home with someone.
- In institutional care (for example residential home or nursing home).

病院 ID : _____

日付 : _____ 年 _____ 月 _____ 日 開始時間 : _____ 時 _____ 分

実施者 : _____

番号	施行時の教示	スコアリング / 教示	得点
1	「私がこれから3つの単語を言いますので、それを覚えてください。その単語は（単語リストから選択）です。では、繰り返して言ってください」	☐ Version1 ☐ Version3 ☐ Version5 ・くるま ・いちご ・つばめ ・ねこ ・うめ ・すず ・たいよう ・でんしゃ ・はやし ☐ Version2 ☐ Version4 ☐ Version6 ・つばめ ・きって ・ひよこ ・うみ ・そら ・つき ・きって ・くるま ・たたみ	
2	「時計を描いてもらいます。」 「円の中にすべての数字を描いてください。」 （描き終わったら） 「11時10分（もしくは8時20分）を示す針を描いてください。」	・ 白紙もしくは予め円（円の一方）が印刷された紙を使用する ・ 数字配置がほぼ正しく、針が11と2（または4と8）を指しているものを正答反応とする ・ 課題施行中、時計は患者の目に触れない場所に設置する ・ CDT（時計描画）を拒否した場合、基準から外れたものとして記録する（0点） ・ <u>3分以内に終わらない場合は、その時点で次の課題に移る</u>	0 2
3	「さっき覚えていただいた3つの単語はなんでしたか？」	※ヒントは与えない	0 1 2 3
		合計	／5
		認知症：0（陰性） 1（陽性）	0 1

スコアリング

3 単語再生

認知症陰性

1～2 単語再生 + CDT 正常

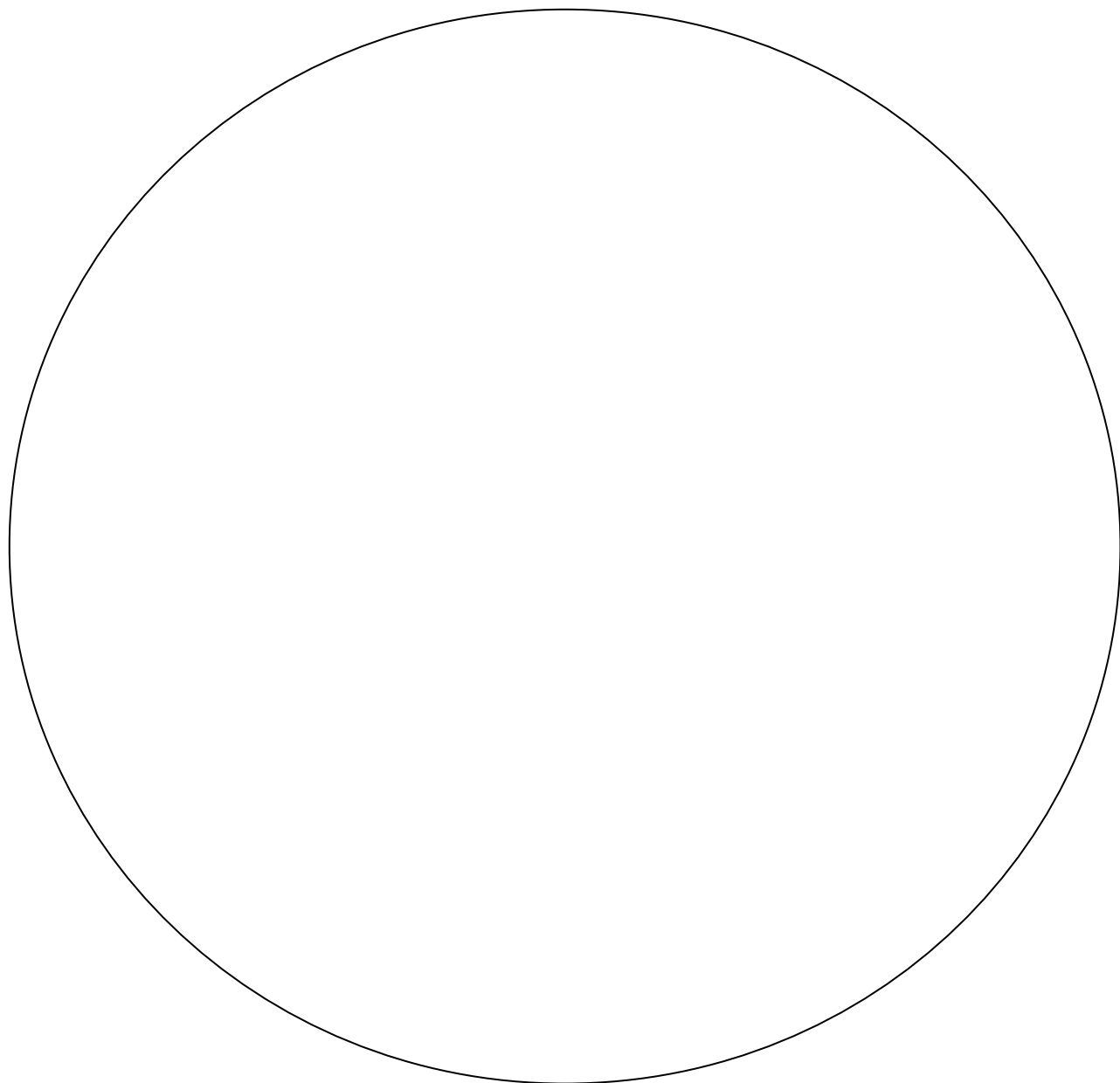
認知症陰性

1～2 単語再生 + CDT 特異

認知症陽性

0 単語再生

認知症陽性



本質問紙の作成にあたり国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の革新的がん医療実用化研究事業の支援を受けています。